



# すたが

苅田町青少年育成町民会議だより

「家庭の日」「オアシス運動」入選者展示



「みんな一生懸命」



## 「木工教室」 子どもフェスティバル

「創造は広がる」



「心が癒されます」

苅田町青少年育成町民  
会議では、子どもフェス  
ティバルにて昨年に引き  
続き、「もみじ学舎」の協  
力を得、「木工教室」を開  
催しました。  
会場のあちこちらで  
は、いろいろな工夫が飛  
び交っていました。  
出来上がった作品は、  
愛着もひとしお。皆さん  
大事そうに持ち帰ってい  
ました。



「親子でどんなものができるかな？」



### 「大人が変われば、子どもも変わる」

まず、大人ができることから始めましょう。



# 11月是全国青少年健全育成強調月間

全ての青少年の健やかな成長を願って・・・。

全国青少年健全育成強調月間  
11月16日～23日  
朝の声かけ運動

## 朝の声かけ運動

苅田町青少年育成町民会議では、10月16日と23日に「いじめ防止強調月間」の一環として、児童・生徒の登校時間に朝の声かけ運動を実施しました。

登校してくる子どもたちからとても大きな声で「おはようございます」と言われ、あわてて私たちもあいさつを返す場面もあり、とても心地よい一日のはじまりでした。



↑与原小学校校門にて



↑苅田中学校付近にて

## 青少年健全育成講演会開催される

1. 日時 平成19年9月15日（土）
2. 場所 町立中央公民館第5研修室
3. 講師 元大野城市子ども相談センター相談員 榎橋照子先生
4. 演題 『子どもを非行にはしらせないため  
…心のサインを見落とさないように…』



当日は連休初日の土曜日にも関わらず、学校・PTAなど多くの方々のご参加をいただき、講演会を開催いたしました。

公演内容は、若年層の犯罪の多発など、現代社会を反映しての家庭教育のあり方、そして家庭・地域で子どもたちを守るため家庭・学校・地域住民・関係団体などの連携がより一層重要になってくるといったことを主なテーマとし、多くの実例を交えて講演を頂きました。当日大変お忙しい中、ご参加を頂いた皆様、ありがとうございました。

受刑者は主に26歳以上の男子で、執行刑期が8年未満の比較的犯罪傾向の進んだ者が収容されています。現在、

宮崎刑務所は明治6年宮崎郡大島村に「懲治場」として開設され、大正11年には現在の宮崎刑務所と改称、昭和46年宮崎市内から都市化に伴い現在地に移転されています。

宮崎刑務所は明治6年宮崎郡大島村に「懲治場」として開設され、大正11年には現在の宮崎刑務所と改称、昭和46年宮崎市内から都市化に伴い現在地に移転されています。

苅田町青少年育成町民会議補導環境部会（原田雄幸会長）は、10月12日宮崎県糸原にある「宮崎刑務所」を訪れ、同所の庶務課長より施設の沿革や受刑者の処遇、特に矯正作業についてくわしくお話を伺いました。



## 補導環境部会視察研修

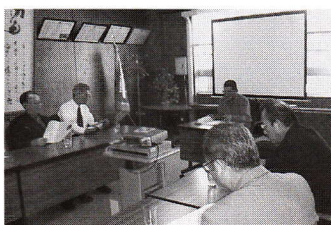
未決施設と合わせて550人が収容されており、暴力団及び薬物事犯が多いとのことでした。

刑務所等の「刑事施設」は刑の執行を通じて、受刑者の改善構成及び社会復帰を図る矯正施設ですが、平成18年5月に改正された新法により従来の作業中心から教育指導に重点をおいた処遇がなされるようになりました。

会議室で丁寧な説明を受けた後、刑務官に先導され、作業場内で木工や洋裁の作業を見学しました。特に、屋久杉を用いた高級飾り棚や刺身舟盛り用の木工製品等は、矯正展や即売会で大変好評との説明がありました。

今回、私も始めて浴場や調理場を見学しましたが、清潔に整理整頓されており、これは、何れの刑務所の施設でも同様でしたが、我が国の「矯正制度」が

高く維持されているとの印象を持ち、有意義な研修を行うことができました。





平成19年度

# 苅田町「家庭の日」「オアシス運動」コンクール入賞作品発表

この度は、たくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。応募作品 860 点の中から入賞作品 105 点が決まりましたので、ご報告させていただきます。(敬称略、順不同)

紙面の都合により作文は、次号に掲載いたします。

## ●ポスター・標語の部

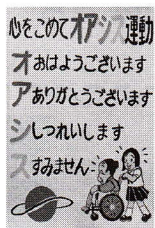
おめでとうございます



南原小2年  
穴見 勇樹



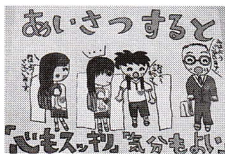
南原小5年  
片山 満里奈



新津中1年  
門田 大輝



苅田中1年  
堀本 昇平



南原小5年  
末松 万由子



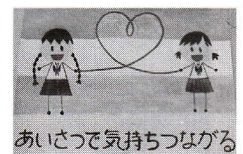
南原小5年  
沖永 由樹



南原小6年  
山田 和斗



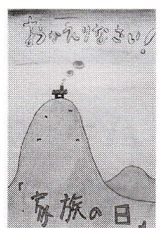
南原小5年  
大石 実穂



苅田中2年  
松田 美穂

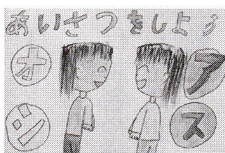


南原小2年  
金田 凜太郎



新津中1年  
高田 真裕子

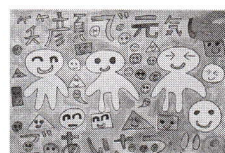
あいさつで 笑顔 たえない わたしの家族	与原小4年 山下 友花
あいさつで 心がつながる 君とぼく	片島小6年 松蔭 泰司
おはようで 元気な一歩 ふみだせる	与原小6年 上野 由美子
ありがとう すてきな言葉 うれしいな	苅田小5年 宮崎 麻由
おはようの 君の声で 元気でる	片島小5年 中谷 翔
あいさつは 心と心の 思いやり	与原小6年 下門 里穂
ありがとう その一言で スマイルに	馬場小6年 瀬川 麻里
おはようは 言っても聞いても いい気持ち	南原小6年 田中 梨乃
ごめんねと この一言が 大事だよ	与原小4年 大迫 百華
ありがとう その一言で やる気です	与原小3年 松下 侑希



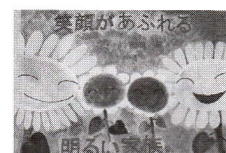
与原小4年  
井本 のどか



南原小5年  
品川 雅智



南原小6年  
堀 明日翔



新津中1年  
三吉 爽香



苅田中2年  
野間 奈緒美



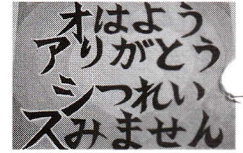
苅田中2年  
古庄 麻穂



苅田中1年  
野呂 碧



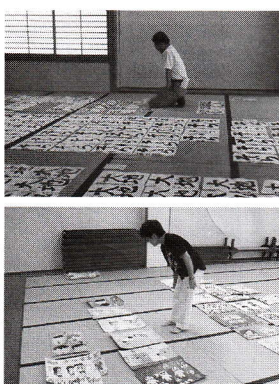
苅田中1年  
寺田 彩夏



苅田中1年  
波野 佳緒里

## ●書道の部

↓審査風景



毎月第3日曜日は、「家庭の日」です。

1年生	南原小	苅田小	苅田小	苅田小	苅田小	与原小	与原小	苅田小	片島小	与原小
	板谷真帆	奥村文香	中山七海	大水康椰	朝重七海	荒木康平	上原 綾	上野菜々	緒方郁磨	末高佳歩
2年生	与原小	馬場小	苅田小	苅田小	南原小	与原小	馬場小	与原小	苅田小	与原小
	上野菜奈	吉瀬礼菜	藤原 匠	木村萌乃	早田実咲	扇 真一	江藤博紀	神田洋輔	井本あかり	山本龍勢
3年生	与原小	苅田小	南原小	与原小	与原小	苅田小	苅田小	南原小	南原小	馬場小
	中嶋将也	西村摩香	高城光希	安野里菜	吉原鉄平	梅森彩乃	江副天勇	林 優太	塩川広大	高木優奈
4年生	片島小	南原小	馬場小	南原小	苅田小	苅田小	与原小	馬場小	片島小	白川小
	松本七海	松田彩花	岡本有司	小野田彩加	葉山 楓	藤田侑大	丸田 香	小森真央	緒方悠乃	井本美優
5年生	苅田小	与原小	南原小	苅田小	馬場小	苅田小	苅田小	与原小	与原小	馬場小
	牧 夢人	中山桃香	上田桃子	椎野徹也	河本雄太	宮崎幸乃	古庄美菜実	高橋 諭	湯越 梓	上田千尋
6年生	馬場小	南原小	与原小	馬場小	苅田小	馬場小	白川小	苅田小	片島小	南原小
	吉田夏未	井上菜々美	松尾優花	岡本真里奈	湯野久美里	小田夏希	幸 哲寛	千代丸彩輔	辻 頌平	門富千歳
中学生	苅田中1年	苅田中3年	苅田中1年	苅田中2年	苅田中1年	苅田中3年	新津中3年	新津中2年	苅田中2年	苅田中1年
	森山栄美	廣瀬晶子	佐野春奈	廣瀬理子	田熊朱理	安田暖美	宮本夏帆	高橋 玲	長尾理子	川田 唯



## ～放課後児童クラブにて～ その1

「馬場キッズ館」の子どもたちに会ってきました。



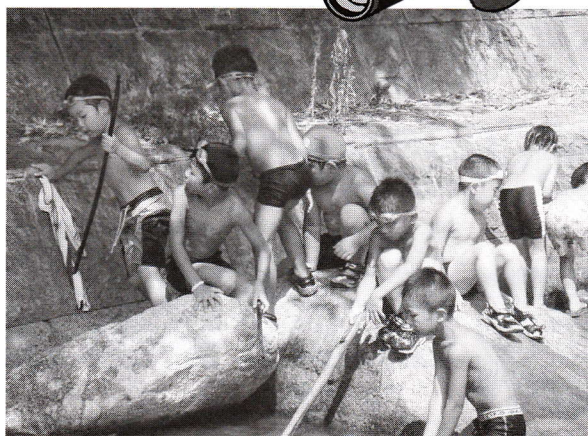
- そこに行けば誰かと遊べる  
安心感があります。



●いろいろな体験ができるよ。

友達の輪がひろがるよ。

ズームイン!!



夏休み、みんなでキャンプに行きました。←

- 同学年の遊びとは、  
違うおもしろさがあります。

今年4月から馬場小学校の校舎横に学童保育がスタートしました。

- ・馬場キッズの子は、虫が大好きです。  
(バッタ、トカゲ、カエル etc.)
- ・毎日、子どもたちが帰った後、  
逃がしています。
- ・外遊びが大好きな元気な子どもたち  
です。

先生のお話

## バァ～バァの一言 No.5

### 「子」と「親」の役割

子どもたちの未来は、子どもたちのものです。  
たとえ母親から生まれていても…。

子どもたちは、育てられた環境の中や様々な体験を通して、  
自分の生き方を見つけていきます。それらを支援していくのは、  
親であり、社会の役割であると思います。

幼い頃は、子どもたちがした事は、親が背負いますが、最近、  
親の責任を子どもたちに背負わせていたりして「あらっ？」と  
思うことが多々あります。学校に行かないのは、子どもたちが  
悪いと決めてしまうことでなく、行くように環境を整えてやる  
のが親の責任ではないでしょうか。子どもたちに自分のした事  
の善悪の正しい認識を家庭教育としてしっかり導いて欲しいも  
のです。

子どもたちが知らない事はできません。やったことのない事  
は知りません。だから体験を通して、学習し、基礎学力を身に  
つけます。教育は、将来子どもたちが社会の成人として成長し  
ていくために必要な学力を教え、育てるものです。自分のアイ  
デンティティを見つけるための手段であると思います。

親は、子どもたちの育ちを近くで日々しっかりと見守り、先  
人として導くことを認識して欲しいものです。

明日の事を考えて行動するのは、大人。あまり深く考えない  
で遊ぶのが子どもたちであるのかなあ～と最近思います。

子どもたちが「お母さん！」と声かけをしたら、すぐに応じ  
て話を聞きましょう。次は無いものと思うことが大切です。



「苅田町非行防止推進  
協議会」が発足して早、  
1年2ヶ月たちました。  
子どもたちはもとより、  
保護者や地域住民への  
自主防犯抑止の啓発運  
動として、効果が現わ  
れたことが大きな成果  
と感じています。

写真は、馬場小学  
校の通学区を巡回  
中の時、頭を下げ、  
「あいさつ」し、手を  
振って来た子どもた  
ちです。  
青パトは、子ども  
たちの安全をいつも  
見守り、貢献してい  
ます。

### 《見守り活動の広がりと効果》

青色パトロールカーを前にして





## ソーラーカー工作教室

荻田工業高校主催のソーラーカー工作教室  
 が荻田自動車学校で行われました。  
 10名ほどの中学生が参加し、荻田工業高校  
 の生徒に指導してもらいながらソーラーカー  
 の模型を完成させることができました。  
 完成後に、太陽の光を当てると自分たちの  
 組み立てたソーラーカーが走り出し中学生た  
 ちは驚いた様子で、ソーラーカーの仕組みを  
 説明してくれる高校生の話を熱心に聞いてい  
 ました。



## 職場体験学習

10月3～5日の3日間職  
 場体験学習を行いました。  
 荻田町内外の50カ所以上の  
 事業所の協力を得て、中学  
 生たちは普段の学校生活で  
 はあじわえない貴重な体験  
 をすることができました。  
 この職場体験学習を通し  
 て生徒達は働くことの大切  
 さと大変さを学ぶことがで  
 きました。





## ～「スクールサポーター」の配置について～

福岡警察では、学校との連携による少年の非行防止及び犯罪被害防止を目的に、平成 19 年 8 月 1 日から、「スクールサポーター制度」を導入し、県下の指定された警察署にそれぞれ配置され活動しています。

行橋警察署にあっても、本年 10 月 1 日付けで、経験豊富な警察 OB の小林氏が配置されており、ここ 苅田町の各中学、高校において警察と学校のパイプ役を勤めております。

活動としては、○少年の非行防止及び立ち直り支援対策

○非行防止学習等への支援

等の各種活動を行っております。



## ※不審者・変質者の出没について

4 月入ってから 10 月末までに 9 件（昨年度同時期 11 件）の不審者・変質者が出没しています。子どもたちが被害に遭う前に防ぎたいものです。

町民皆様方のご協力・ご支援により児童・生徒の安全を見守ってください。

### 出没状況

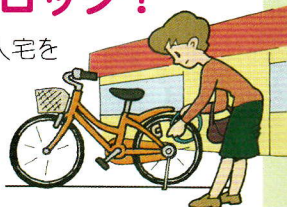
- ◆場 所 京町、神田町、提、与原 ◆対象者 女子児童・生徒
- ◆時間帯 登下校時（7 時～20 時）
- ◆被 害 声かけ、追いかけ、下半身露出

※不審者等に気付いたらすぐ 110 番  
又は 近くの学校へ連絡下さい。

# あなたの『愛錠』をかけよう!!

## ★ わずかな時間でも必ずロック！

コンビニなどで買物する時や、友人・知人宅を訪問したときなど、自転車からほんのちょっと離れている間に、自転車が盗まれてしまうことがあります。面倒でも必ずカギをかけましょう。

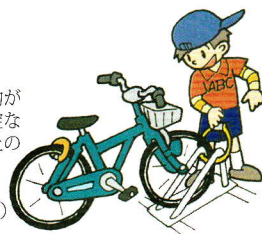


## ★ 路上にはとめず、駐輪場を利用！

カギをかけていても路上にとめると盗まれる可能性が高くなります。明るく監視が行き届いた駐輪場をなるべく利用し、忘れずに「ツーロック」をしましょう。

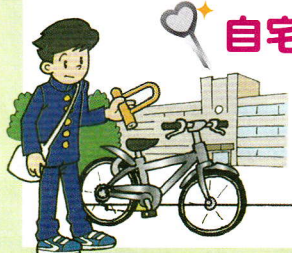


※駐輪場でパイプなどの固定物がある場合、車体をワイヤー錠などでつなげておくと盗難防止の効果は高まります。（このような施錠方法が許可されている駐輪場に限りです。）



## ★ 自宅や学校でも油断大敵！

安全と思える自宅の敷地内や学校の駐輪場でも盗まれることが少なくありません。駐輪するときは、そこがどんな場所でもしっかりカギをかけておくことが大切です。



## 福岡県警察メール配信システム

福岡県警察メール配信システムは、警察本部又は警察署から地域の安全に関する情報を「パソコン」又は「携帯電話」に配信するサービスです。

- ・現在、お持ちの「パソコン」または「携帯電話」からサービスの登録ができます。
- ・登録は無料ですが、メールの送受信及びホームページ閲覧にかかる通信料が必要です。
- ・情報の配信は平成 18 年 12 月 9 日から開始しています。



メールの登録は [こちらから](http://www.police.pref.fukuoka.jp/mailmg/)

<http://www.police.pref.fukuoka.jp/mailmg/>

### 行 橋 警 察 署

☎0930-24-5110 (代)

行 橋 京 都 地 区 防 犯 協 会  
行橋京都安全まちづくり推進協力会

編集・発行  
苅田町青少年育成町民会議  
すこやか編集委員会  
093・434・9838

秋になっても真夏のような暑い日々が続きました。これは人類のCO<sub>2</sub>などの温暖化ガスの排出が原因で地球の気温が上昇している地球温暖化のためだと言われている。そしてこの地球温暖化はじわりとしかし確実に進行しているようです。

地球温暖化は海面上昇や北極海をおおう氷の面積の減少、水河の減退また農作物の収穫量や漁獲量の減少など地球規模の環境の変化を引き起こす原因となつています。しかし現在の我々の生活に深刻な影響は出ていません。気がつこうとしなければ今起こっている現実を理解することはできません。

地球温暖化は子どもたちの未来に暗い影を落とします。子どもたちのために私たちができることは身近な生活を見直すことではないでしょうか。例えば電灯や家電製品などのスイッチをこまめに切る。エアコンの温度設定を少し変える。自動車の利用を控える。など現在の便利な生活を少し我慢してエネルギーの浪費をおさえるなどの温暖化ガス排出を減少させるのです。そして未来の子どもたちのために私たち大人が協力して「環境」と言う財産を残しましょう。

三浦 豊

編集後記